

輸出品目別レポート（かき）

■品目説明

かきの品種は、甘柿と渋柿に大別され、「富有」、「次郎」などが甘柿、「刀根早生」、「平核無」などの渋柿がある。輸出品種としては、甘柿の「富有」が主体であるが、最近では渋柿の「平核無」の渋抜きをしたものも輸出されている。また、「市田柿」などの干し柿、かき加工品も海外で人気である。

令和 6（2024）年産かきの国内収穫量は 16 万 7,300 トン（10%減）、出荷量は 14 万 5,400 トン（9%減）であった。また、全国の結果樹面積は 1 万 7,200ha で、前年に比べ 300ha（2%）減少した。また都道府県別の収穫量割合は、和歌山県が 19%、奈良県が 15%、福岡県が 8%、岐阜県が 7%、新潟県が 6%となっており、この 5 県で全国の約 6 割を占めている（農林水産省「[農林水産統計 作物統計調査 令和 6 年産西洋なし、かき、くりの結果樹面積、収穫量及び出荷量（令和 7 年 4 月 15 日公表）](#)」）。

そのほか、青果物に関する詳細情報は、[農林水産省「果樹をめぐる情勢」](#)（2024 年 10 月）、[果樹のページ](#)、[日本青果物輸出促進協議会](#)などを参照。そのほか、関連業界団体として、[公益財団法人中央果実協会](#)、[日本園芸農業協同組合連合会](#)などがある。

なお、種苗法により、「シャインマスカット」など登録品種の種苗等を育成者権者の許諾なく海外に持ち出す行為は禁止されているので注意が必要である（詳細は、[農林水産省品種登録ホームページ](#)を参照）

■貿易概況

2023 年のかきの輸出額は前年比 9.3%減の 424 万ドル、輸出量は同 5.5%減の 944 トンであった（表 1）。主要輸出相手国・地域はタイと香港で、輸出額全体に占めるシェアは香港が 62.9%、タイが 26.3%である。輸出額全体の 89.2%がこの 2 カ国・地域に輸出されている。

なお、かき、かき加工品は、農林水産省の[輸出拡大実行戦略](#)（2025 年 5 月）の輸出重点品目のひとつであり、2030 年までに全体 54 億円（台湾 15 億円、香港 10 億円、タイ 9 億円など）を目標としている。「贈答用需要への安定供給を基本としつつ、贈答用以外の需要への対応」、「富裕層向けを基本としつつ、買い求めやすい価格帯の訴求」などが課題である。

▼表1：日本のかき（柿）輸出

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
香港	2,056,190	359	2,742,873	654	2,670,385	645	△ 2.6	△ 1.4
タイ	1,397,884	217	1,446,813	262	1,116,498	204	△ 22.8	△ 22.1
シンガポール	246,795	37	160,880	32	171,997	40	6.9	25.0
台湾	94,349	15	192,691	29	119,449	24	△ 38.0	△ 17.2
カンボジア	2,649	0	21,996	4	84,935	18	286.1	350.0
全世界	3,918,822	645	4,676,471	999	4,243,755	944	△ 9.3	△ 5.5

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

■海外事情

●香港

2023 年のかきの輸入をみると、金額は前年比 30.4%減の 585 万ドル、数量は同 36.8%減の 1,133 トンであった（表 2）。主要輸入相手国の 1 位は日本で金額が 378 万ドル（前年比 21.8%減）、数量が 562 トン（同 14.5%減）、2 位のスペインは金額が 141 万ドル（同 39.1%減）、数量が 450 トン（同 44.2%減）、3 位のオーストラリアは金額が 23 万ドル（同 54.0%増）、数量が 32 トン（同 33.3%増）となった。

▼表2：香港のかき（柿）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
日本	3,041,764	396	4,840,563	657	3,786,940	562	△ 21.8	△ 14.5
スペイン	2,256,911	1,048	2,329,731	807	1,417,979	450	△ 39.1	△ 44.2
オーストラリア	183,967	32	150,966	24	232,447	32	54.0	33.3
ニュージーランド	471,892	109	777,699	125	229,315	33	△ 70.5	△ 73.6
中国	7,382	12	—	—	88,287	22	—	—
全世界	6,353,352	1,789	8,414,898	1,793	5,852,977	1,133	△ 30.4	△ 36.8

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

[香港 PF 品目別（青果物）カントリーレポート](#)（2024 年 11 月）にて、香港の市場動向、青果物の輸入規制、輸入手続き（2022 年 7 月時点）など紹介している。

また、香港における贈答用青果物に関しては、香港 PF 深堀カントリーレポート「[香港におけるギフト食品市場～月餅・お菓子・花き・青果物～](#)」（2022 年 11 月）を参照。

●タイ

2023 年のかきの輸入をみると、金額は前年比 25.1%増の 2,183 万ドル、数量は同 28.4%増の 21,016 トンであった（表 3）。主要輸入相手国の動向をみると、1 位の中国は金額が

1,907 万ドル（前年比 34.2%増）、数量 が 20,590 トン（同 30.4%増）、2 位の日本は金額が 135 万ドル（同 19.3%減）、数量が 206 トン（同 10.0%減） で、3 位のニュージーランドは金額が 123 万ドル（同 0.1%増）、数量が 149 トン（同 12.4%減）であった。

▼表3：タイのかき（柿）輸入

(単位：ドル、トン、%)

	2021年		2022年		2023年		前年比	
	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量
中国	10,094,202	10,279	14,215,617	15,784	19,073,200	20,590	34.2	30.4
日本	1,635,554	213	1,684,083	229	1,359,595	206	△ 19.3	△ 10.0
ニュージーランド	1,502,629	230	1,235,216	170	1,236,481	149	0.1	△ 12.4
韓国	46,250	55	320,369	180	166,453	72	△ 48.0	△ 60.0
オーストラリア	8,686	1	—	—	—	—	—	—
全世界	13,287,320	10,778	17,455,284	16,362	21,835,729	21,016	25.1	28.4

注：対象はHSコード 0810.70

出所：Global Trade Atlas（IHS Markit）より作成

タイについては、タイ PF 深堀カントリーレポート「[タイ輸入における 青果物・畜産物の輸入検査実態調査](#)」（2023 年 3 月）、「[タイにおける他国産輸入青果物の 輸入・販売・評価等調査](#)」（2023 年 1 月）にて、現地の青果物に関わる状況をまとめている。

●その他

ベトナムについては、ベトナム PF「[品目別カントリーレポート 青果物](#)」（2024 年 3 月）にて、ベトナムにおける市場概況、市場動向、流通、販売、法規制、流通業者から日系事業者への提言など、また、「[品目別カントリーレポート 競合国の比較（青果物、畜産物、水産物、乳製品）（販売戦略と商流構築）](#)」（2024 年 12 月）でも、ベトナムにおける輸入動向、国内における消費の特性、流通構造、主な輸入・卸業者、現状の課題などをまとめている。

・[JFOODO「シンガポールの今がわかる！現地”食”情報レポート](#)」（2025 年 3 月）

ジェトロ「[現地市場価格調査](#)」では、青果物の主要都市における市場価格をまとめている。

青果物の輸入規制、輸入手続きに関して、[ジェトロのポータル](#)にて、香港、台湾、韓国、中国、マカオ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、タイ、ベトナム、インド、フィリピン、米国、カナダ、EU、英国、ニュージーランドを取りまとめている。

本レポートに関する問い合わせ先：

日本貿易振興機構（ジェトロ）

農林水産食品部 市場開拓課 調査チーム

〒107-6006

東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル

TEL：03-3582-5186

【免責事項】

本レポートで提供している情報は、ご利用される方のご判断・責任においてご使用ください。ジェトロでは、できる限り正確な情報の提供を心がけておりますが、本レポートで提供した内容に関連して、ご利用される方が不利益を被る事態が生じたとしても、ジェトロ及び執筆者は一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。